



通信紙「ぴっけるぴっけ」2009年 初夏号

## 「ぴっけるぴっけ」というタイトルの意味は？

当通信紙「ぴっけるぴっけ」というタイトルの意味について、時折ご質問をいただきます。特に最近ご支援いただき始めた皆様には、このこととお話しする機会がありませんでした。ここで紹介させていただきます。

当サンクチュアリは「ツルと人とのかけ橋」という役割を担っています。タイトルを決めるにあたり、この「ツル」と「橋」を合わせて、土木工事用具の「つるはし」がまず連想されました。さらにつるはしの英語名 "pickaxe" と、ドイツ語名 "Pickel" (男性名詞) と "Picke" (女性名詞) が候補に挙がり、最終的に発音の愉快さ、親しみやすさから、ドイツ語の2つをつなげた「ぴっけるぴっけ」というタイトルに決まりました。



ぴっけるぴっけ 創刊号

こうして「ぴっけるぴっけ」の創刊号が発行されたのは、1988年春のことでした。今でこそ印刷機で簡単に大量印刷できるようになりましたが、当時はプリントゴッコを使って一枚一枚印刷していました。創刊から21年、ここまで発行が続けられているのも、ひとえに皆様のご支援のおかげです。そして、これからもタンチョウと皆様のかけ橋となれるよう、この「ぴっけるぴっけ」を発行していきますので、どうぞよろしくお願いします。(K)

## 野鳥保護区のタンチョウの繁殖状況

明治乳業野鳥保護区牧の内： 標識番号 T25 のつがいは今年も無事に雛を孵し、6月14日現在1羽を連れていきます。もう1つがいの99Vのペアはヒナを連れていません。

持田野鳥保護区東梅： 4月27日に抱卵を確認し、5月18日に雛を1羽確認しましたが、24日には雛が見られなくなりました。

渡邊野鳥保護区フレシマ： 5月6日の巡回監視時に雛を1羽連れていく所を確認。

三菱UFJ信託銀行野鳥保護区酪陽・藤田野鳥保護区酪陽： 繁殖地には戻ってきたが営巣したか不明。

渡邊野鳥保護区ソウサンベツ・明治乳業野鳥保護区槍昔： 例年通り、4つがいになわばりを構えたが、いずれもつがいで行動し、雛の確認はされていない。

## くしろエコフェスタ 2009 に参加

6月6日(土)、7日(日)に釧路市こども遊学館で開催された「くしろエコ・フェア 2009」に参加しました。自然や環境保護活動に関わる団体がそれぞれ出展し、私たちは「タンチョウ博士がやってくる！ゲームで君もタンチョウ博士に！？」というブース名で、タンチョウについて遊びながら学んでもらおうと、『タンチョウティーチャーズガイド』を使って、ぬりえやゲーム、クイズラリーを行いました。

ぬりえ『タンチョウぬりえにチャレンジ』は、色のついていないタンチョウに実際の色を塗ってもらうのですが、特に羽を広げて飛んでいる姿については大人でも自信を持って答えられる人は少なく案外難しいものです。ゲーム『湿原で何がおこった』は湿原の中で起こる様々なイベント(開発や事故、保護区設置など)がタンチョウの生息数を増減し、それを通じて現実に生じている問題を知ることができるもので、リピート率が高く、「もう1回！」と何度も挑戦する子どももいました。人気があったのはクイズラリーで、親子で一緒に考えながら挑戦していました。



出展ブースの様子



実際の重さのタンチョウのぬいぐるみを持つ子ども

この他に、タンチョウの巣やヒナのぬいぐるみを触ってもらうことで実際の大きさや重さを体験してもらいました。また、タンチョウのアニメーション映画『白いファンタジア』を上映しました。開館期これらはサンクチュアリ2階でも常時展示、上映しています。

今回は7日のみの参加でしたが、100人を超える親子連れが私たちのブースに足を運んでくれました。参加した人々が家に帰ったあと、楽しい思い出と共にタンチョウについても考えてくれたり、学んだことを周りの人と共有することで自然に興味をもつきっかけになればと思います。(1)

## 鶴居村タンチョウ食害防止対策に協力

鶴居村内の酪農地域では、牛の飼料用トウモロコシとなるデントコーンを栽培しており、その種まきが春に行われます。しかし、十数年前から一部の酪農地域で、越冬期が終わっても残るタンチョウによって、まいた種が食害されるケースが目立つようになりました。そこで鶴居村は、その対策として、毎年食害を受けやすい畑に防鳥器具を設置しています。

今年も村から協力依頼を受け、村役場職員や地域団体と協力し、レンジャーも防鳥器具の設置に参加しました。畑を囲うように約10m間隔で棒を立て、ロープを張ることにより、タンチョウが歩いて入れないようにしました。同時に、畑の中にも一定の間隔で棒を立て、空から降りることもできないようにしました。また、「鳥ペラ」と呼ばれる、風が吹くと回

転して鳥を近づけさせない音が出る装置も取り付けました。

作業を始める前にもタンチョウが畑に入っていたので、走って追い出しました。対策前はこうして逐一追い出す必要がありましたが、対策後は畑の周りにやってきたタンチョウも畑の中に踏み込めない様子で、十分な成果が出ているようです。(K)



防鳥器具設置の様子

## 第8回コニカミノルタ・タンチョウチャリティフォトコンテスト 入賞作品が決まる！

当サクチュアリでは、2001年度より毎年、コニカミノルタホールディングス株式会社のご協賛を受け、「コニカミノルタ・タンチョウチャリティフォトコンテスト」を実施しています。



優秀賞 樋口義矩様  
「赤い帽子」

第8回となる2008年度は、全国から104点のご応募をいただきました。そしてこの度、8点の優秀賞作品と、7点の入賞作品が決定いたしました。これら15点の作品は、当サクチュアリのホームページ（巻末参照）およびコニカミノルタホールディングス株式会社のホームページ（<http://konicaminolta.jp/tancho>）でご覧になることができます。

そして、前年度に引き続き、優秀賞作品8点を使ったオリジナル切手シートの作成が決定しました。また、毎年行っている全国各地での写真展も実施する予定です。これらの最新情報は、ホームページ上に随時掲載いたします。ご期待ください。(K)

## グリーン・ホリデーのご紹介 ～はじめてみよう休日ボランティア

北海道の野鳥保護区や鶴居・伊藤タンチョウサクチュアリでは、巡回監視、モニタリング調査、そして、貴重な鳥類がすめる環境の維持や創出のために多くの管理作業が発生します。昨年度より「野鳥保護区ボランティア Day」という月1回半日の環境管理イベントを行ってきました。

今年度は新たに、休日の楽しみ方のひとつとして、余暇を充実させ、しかも貴重な自然環境を次世代に残すことにつながる、環境ボランティアを提案したいという思いから、「グリーン・ホリデー」という2泊3日のボランティア・プログラムを始めました。

第1回目は、北海道根室の野鳥保護区において「タンチョウの住む『湿原』を守ろう」

という目標のもと、ヤナギの挿木や植樹実施地へのシカ柵の設置を行い、またタンチョウと同じ湿地を利用するオジロワシの行動調査を行いました。

第3回目は、8月21日～23日まで鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリで「タンチョウの食事場所を整えよう」ということで、タンチョウが冬の間も自然の中で食べ物を採れる場所の整備を行います。

9月にも第4回目として「シマフクロウのすむ「森林」を守ろう」を準備しています。

自然を楽しみ、自然のために。だれでもできるボランティア休日

雄大な自然を満喫し、希少な野生生物のための活動を行いませんか？ (A)

詳しくはホームページまたは当サンクまでお問合せください

ホームページアドレス：<http://www.wbsj.org/event/greenholiday.html>

## レンジャーからのご挨拶

### 有田 茂生（ありた しげお / チーフレンジャー）

鶴居にやってきて、2年目となりました。今年度は、特に越冬環境の保全に向けての取り組みを進めていきます。その中でも、冬期、給餌場とねぐら以外でタンチョウがどのような環境を利用し過ごしているのかを明らかにして、人への依存、過密化を緩和するための情報を集めていきたいと考えています。今後も皆さんとともにタンチョウ保護に取り組んでまいります。

### 伊藤 加奈（いとう かな / レンジャー1年目）

初めまして、4月よりレンジャーとして着任しました伊藤加奈です。子どもの頃から動物が好きで学生時代に鳥と出会ったのをきっかけに、特に日本の生き物に関わる仕事がしたいと思いこの仕事を希望しました。入社1年目から独特な自然を持つ道東に配属になりとても嬉しく思っています。

これまでタンチョウは動物園で親しんできましたが、湿原の中、太陽の光で輝く真っ白な体はとても印象的で、自然の中で生きている姿は格別です。これからも、タンチョウが豊かな自然の中で生きていけるよう頑張っていきたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。

### 加藤 健太郎（かとう けんたろう / インターンレンジャー1年目）

冬の間サンクチュアリで過ごしたタンチョウたちは大部分が湿原へ帰り、ネイチャーセンターも休館期に入っています。「落ち着いた時期に入る」と最初は思いましたが、休館期でも私たちがタンチョウ保護のためにすべきことはたくさんあり、新たなことを学ぶ毎日です。今年度も保護・調査の活動や、その成果を皆様にお伝えすることまで、一つ一つ着実に取り組んでいきます。どうぞよろしくお願い致します。

財団法人 日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

-2620 FAX : 0154-64-2239

e-mail : tancho\_sanc@wbsj.org URL : <http://www.wbsj.org>

レンジャー 有田茂生／伊藤加奈／加藤健太郎